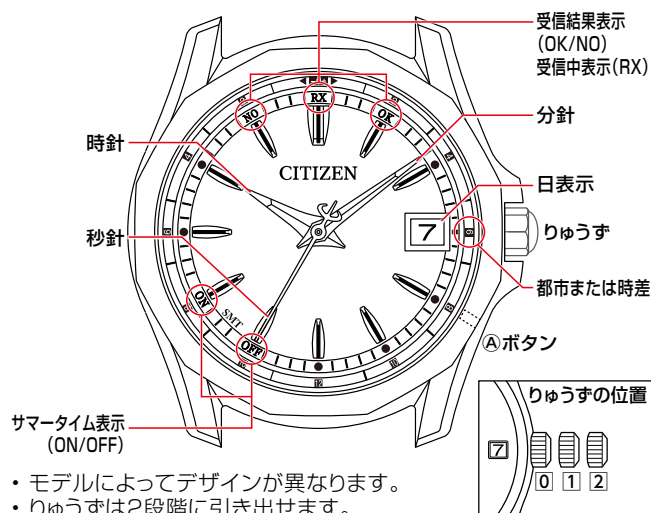


H24* 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間/仕様/操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。 <https://citizen.jp/support/guide/html/h24x/h24x.html>

各部の名称



現在の充電量を確認する

1. りゅうずの位置を0にする

2. Aボタンを押す

秒針の動きで充電量をお知らせします。

「OK」または「NO」を指す	十分に充電されています。
反時計回りに動いてから「OK」または「NO」を指す	充電が必要です。 十分に充電してください。

- 秒針は、「OK」または「NO」を指しますが、これは充電量とは関係ありません。

3. Aボタンを押して、終了する

現在の時刻に戻ります。

- ボタンを押さなくても、約10秒すると自動で現在の時刻に戻ります。

受信結果を確認する

この時計は、毎日、夜間に自動で受信します。

1. りゅうずの位置を0にする

2. Aボタンを押す

秒針が動き、前回の電波の受信結果を指します。

表示	受信結果
OK	受信に成功しました。
NO	受信に失敗しました。

- 受信に失敗している場合は、「電波を手動で受信する(強制受信)」の手順に従い、電波受信をしてください。
- 電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じます。

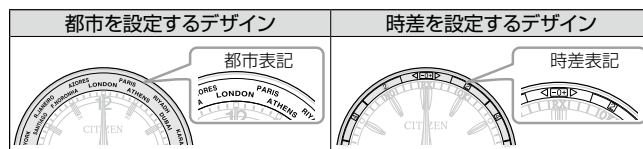
3. Aボタンを押して、終了する

現在の時刻に戻ります。

- ボタンを押さなくても、約10秒すると自動で現在の時刻に戻ります。

ワールドタイムを確認する

- この時計では、設定する都市または時差によって、電波受信の受信局が異なります。都市または時差設定にご留意ください。
- 時計のデザインによって、都市を設定するか時差を設定するか異なります。「都市を設定する」または「時差を設定する」を参考に、ワールドタイムを設定してください。



都市を設定する

1. りゅうずの位置を1にする

秒針が動き、現在設定されている都市を指します。

2. りゅうずを回して、都市を設定する

- 「都市名一覧」から選びます。
- 都市を変更することに、その都市の時刻・日表示が表示されます。

3. りゅうずの位置を0にして、終了する

現在の時刻に戻ります。

都市名一覧

略称と秒針の指す位置	都市名	時差	電波局
LON 0秒	*ロンドン	0	ドイツ
PAR 3秒	*パリ	+1	
ATH 5秒	*アテネ	+2	ドイツ◆
RUH 8秒	リヤド	+3	
DXB 10秒	ドバイ	+4	中国◆
KHI 13秒	カラチ	+5	
DAC 15秒	ダッカ	+6	中国
BKK 17秒	バンコク	+7	
BJS 20秒	北京	+8	中国
TYO 22秒	東京	+9	日本
SYD 25秒	シドニー	+10	日本◆
NOU 27秒	ヌーメア	+11	
AKL 30秒	オークランド	+12	アメリカ◆
MDY 33秒	ミッドウェー諸島	-11	
HNL 35秒	ホノルル	-10	アメリカ◆
ANC 38秒	**アンカレジ	-9	
LAX 40秒	**ロサンゼルス	-8	アメリカ
DEN 43秒	**デンバー	-7	
CHI 45秒	**シカゴ	-6	アメリカ◆
NYC 47秒	**ニューヨーク	-5	
SCL 50秒	サンティアゴ	-4	アメリカ◆
RIO 52秒	リオデジャネイロ	-3	
FEN 55秒	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島	-2	ドイツ◆
PDL 57秒	*アソレス諸島 (ポントデルガダ)	-1	

- */*/**の都市では、サマータイム・標準時刻の表示が連動しています。
- 一覧表の時差は、UTC(協定世界時)からの時差です。
- 一覧表にない都市で時計を使用する場合は、同じ時差の都市を設定してください。
- 時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。
- ◆の都市は受信範囲外であり、受信することはできません。(受信時には各局の電波を受信しようと動作します)
- 電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。

時差を設定する

標準時刻におけるUTC(協定世界時)を基準として、-11時間から+12時間(標準時刻)の範囲で、1時間ずつ時差を変更することができます。

1. **りゅうずの位置を①にする**
秒針が現在の時差設定を指します。
2. **りゅうずを回して、時差を設定する**
3. **りゅうずの位置を②に戻して、終了する**
 - ・サマータイムを設定する場合は、時差を設定してから操作します。(「サマータイムを設定する」参照)

電波を手動で受信する(強制受信)

受信が完了するまでに2分から15分程かかります。

1. **りゅうずの位置を③にする**
2. **Ⓐボタンを2秒間以上押し続ける**
秒針が「RX」を指し、電波受信を始めます。受信が終了すると、秒針が通常の動きに戻ります。
受信に成功した場合: 修正された時刻を表示します。
受信に失敗した場合: 時刻は修正されず、現在の時刻に戻ります。
・受信を中断したいときは、Ⓐボタンを2秒間以上押しします。

サマータイムを設定する

サマータイムを行っている地域では、標準電波にサマータイム信号が含まれます。

1. **りゅうずの位置を②にする**
2. **りゅうずを回して、サマータイム設定を変更する**

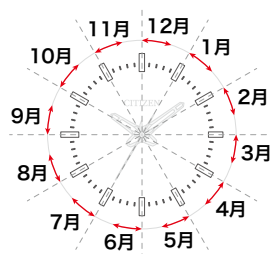
表示	内容
ON	サマータイムが表示されます。 電波を受信すると、サマータイム信号の有無によって、標準時刻 / サマータイムを自動で切り替えます。
OFF	標準時刻が表示されます。サマータイム信号を受信しても、標準時刻表示のままです。

3. **りゅうずの位置を③にして、終了する**

時刻とカレンダーを手動で合わせる

この時計のカレンダーは、うるう年を含む2100年2月28日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

1. **りゅうずの位置を②にする**
2. **Ⓐボタンを押す**
秒針が0秒を指します。
3. **りゅうずを回して、分を合わせる**
 - ・りゅうずを素早く回転させると、分針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
4. **Ⓐボタンを押す**
時針が合わせられるようになります。
5. **りゅうずを回して、時と日表示を合わせる**
 - ・日表示は時針と連動して切り替わります。
 - ・日表示が切り替わったときが午前0時です。午前/午後を間違えないよう注意します。
 - ・りゅうずを素早く回転させると、時針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
6. **Ⓐボタンを押す**
現在設定されている年と月が、秒針で表示されます。
7. **りゅうずを回して、年と月を合わせる**
 - ・月は、時刻の「時」の範囲で示されます。



- ・年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。

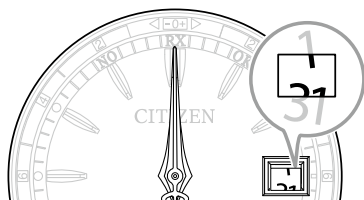
(例)2015年4月に合わせるときは
4月→4時の範囲
2015年→うるう年から3年目



8. **時報に合わせて、りゅうずの位置を③にする**

基準位置を確認する

1. リューズの位置を①にする
2. ④ボタンを5秒間以上押し続ける
各針と日表示が動き、現在の基準位置を表示します。
・針と日表示が動いている間は、操作をすることはできません。
・正しい基準位置:
すべての針が12時位置、
日表示が「31と1の間」
現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。
3. リューズの位置を②にして、確認を終了する
時刻表示に戻ります。



基準位置を修正する

1. リューズの位置を①にする
2. ④ボタンを5秒間以上押し続ける
各針と日表示が動き、現在の基準位置を表示します。
3. リューズの位置を②にする
時針がわずかに動きます。
4. リューズを回して、時針を「0時」、日表示を「31と1の間」に合わせる
・日表示は時針と連動します。
・リューズを素早く回転させると、時針が連続して回転します。
リューズを少し回すと止まります。
5. ④ボタンを押す
分針と秒針が動きます。
・針の位置が正しい場合、動かない場合があります。
6. リューズを回して、分針を「0分」、秒針を「0秒」に合わせる
・針の位置があっていた場合は、修正できません。ずれていた場合は手動で修正をしてください。手動でも合わせられない場合、弊社修理窓口にご相談ください。
7. リューズの位置を③にして、終了する
時刻表示に戻ります。

オールリセットを行う

1. リューズの位置を②にする
2. ④ボタンを7秒以上押し続けて離す
全ての針の動きが完全に停止したら、オールリセットが完了します。
・全ての針の動きが完全に停止するまで最長6分程度かかる場合があります。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置を合わせ直してください。その後、時差または都市の設定を行い、手動で電波を受信して(強制受信)、時刻とカレンダーを合わせ直してください。